

## 授業改善推進プラン

### 【教科名：国語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っているものが多く、特に「送り仮名を含む漢字の書き」など「書くこと」の正答率が大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部首や漢字の成り立ちに関する知識などの基礎・基本の定着。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字テストの頻度を高め、漢字の書きに対する意識を高める。</li> <li>新出漢字を使った文章作りの課題に取り組みさせるなど漢字に親しむ工夫を行う。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っているものが多く、特に「考えや感想をまとめ伝え合う」など「読むこと」の正答率が大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読んだことを受けて、自分の考えや感想をもつことに課題がある。</li> <li>文学的な文章、説明的な文章とともに基礎・基本の定着。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えの根拠を、教科書を基に説明し合うことで、学び合う授業づくりを行う。</li> <li>文章の中心と全体を意識した読みの定着を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っているものが多く、特に「考えが伝わるように工夫して書く」「漢字の書き」など「書くこと」の正答率が大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとそれを支える根拠を明確にして書くことに課題がみられる。</li> <li>書くことに関する基礎・基本の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の書いた文章を推敲させることを習慣づけ、読み手を常に意識させる。</li> <li>主述の対応や呼応の副詞、接続詞の活用などを生徒たちが互いに確認し、学び合う授業づくりを行う。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の現状として、助詞を抜いた言語表現や漢字の書き取り・読み取りに課題がある。また、文末に句点をつけ忘れるということがある。</li> <li>文章読解に苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の通り、助詞を抜いて文を書くことや漢字の書き取り・読み取り、句点のつけ忘れ。文章読解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き取りは小学校4年生程度の練習を継続する。読み取りは学年相当を行う。普段の生活から助詞や句点を意識して書かせる。文章から読み取る学習活動を増やす。</li> </ul>

### 【教科名：社会】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<p>標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っており、特に日本の気候の特色や日本の国土等に関する地理的分野の基礎・基本の定着が課題である。</p>	<p>気候や地形などに関連付けて基礎・基本の知識技能の定着を図ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の問題を設定し、単元全体を見通した学びの連続性を意識する。</li> <li>導入時の指導の工夫を行い、生徒の地理的分野に関する興味・関心を高める。</li> </ul>
2年	<p>標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っている。特に歴史的分野においては、歴史の流れや時代の区分などの基礎・基本の知識の定着が課題である。</p>	<p>歴史の流れとその時代背景などを捉えさせながら、基礎・基本の知識の定着を図ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代背景や出来事など、知識の定着だけでなく、その事象の原因や理由を考えさせる。</li> <li>生徒の歴史的分野への興味・関心を高めるために導入時の指導の工夫に取り組む。</li> </ul>

3年	標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っている。特に思考力・判断力・表現力の正答率が低く、地図や地形図の見方や読み取りにおいても基礎・基本の知識の定着が課題である。	方位や地図記号、地図の種類やその特色など、地理的分野に関する基礎・基本の知識の定着を図ること。	・資料や地図を読み取る活動を授業内で取り入れる。 ・様々な社会的事象に関する知識の定着だけでなく、その事象の原因や理由を考えさせることで思考力の向上につなげていく。
B組	・少しずつ自信がついている。 ・学んだことを応用することが少しずつできるようになっている。 ・グラフを綿密に読み取る力に課題がある。	・グラフを綿密に読み取る力。	・グラフを読み取り、正確に答えられるように気づいたことを答えさせる。

【教科名：数学】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	・標準学力検査では、内容別、観点別ともに全国正答率を下回っている。 ・基礎・基本の定着に課題がある。	・基礎・基本のさらなる定着を図る。	・各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。 ・補習教室を定期的実施する。 ・授業中の学び合いを充実させ、学習意欲の向上を図る。
2年	・NRTの結果では、全分野において全国正答率を大幅に下回っている。 ・基礎・基本の定着ができていない。	・基礎学力の定着。 ・学習意欲や向上心を培う。	・既習事項の復習や補習をし、定期的に振り返って定着させる機会を増やす。 ・授業中の学び合いを充実させ、学習意欲の向上を図る。
3年	・全体的に、周りと交流しながら積極的に授業に取り組んでいる。 ・標準学力検査では、内容別、観点別ともに全国正答率を下回っている。	・基礎・基本のさらなる定着を図る。	・各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。 ・補習教室を定期的実施する。
B組	・計算は時間をかければ解くことができるが、積み重ねは苦手である。 ・文章題が苦手であり、式を組み立てることが苦手である。	・基本的な問題の計算力の向上。 ・何を求める問題なのかを理解することが苦手である。	・簡単な計算問題を反復して行う。 ・問題文から必要な情報に下線を引かせて、式を組み立てる練習を行う。

【教科名：理科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートでは、少人数での話し合いが少ないとの回答が、他の教科よりも多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なグループワークの場面を増やす。あわせて、グループワークの手順や要点を示す。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NRTの結果では、全分野において全国平均を下回っていた。</li> <li>・中間考査では、実験操作の理由や結果の考察を問う問題での正答率が低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本のさらなる定着を図る。</li> <li>・実験への取り組みせ方の改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習の場面を増やし、学習事項の確認を行う。</li> <li>・実験を行う前に、実験のねらい、意図、考察の視点などを示す。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートでは、効果的な振り返りを行っていると実感している生徒が少ないことが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートや、振り返りの活動内容の改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに振り返りの視点を示す。</li> <li>・大単元の終わりには、コンセプトマップの作成を行うなど、効果的な振り返りの場面を設ける。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句を覚えることができている。</li> <li>・実験結果から考察することはまだ難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果から考えることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかけながら、考えを深めていく活動を増やす。</li> </ul>

【教科名：音楽】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・困り感のある生徒も、生徒同士で教え合い協力しながら学習できている。</li> <li>・歌唱に対し苦手意識を持つ生徒が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着。技能の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習を導入時に行い、理解の定着を図る。</li> <li>・まず簡単な声出しや発声練習から始める。誰でも取り組める内容を取り入れて学びにつなげることを重点的に工夫して授業を行う。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱に対し苦手意識を持つ生徒が見受けられる。</li> <li>・内容理解の定着に課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着。技能の向上。</li> <li>・グループ活動を充実させるための課題設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動を取り入れ、互いに学び合ったり教え合ったりできる関係を作り、クラス全体で授業に臨めるようにしていく。</li> <li>・前時の復習を導入時に行い、理解の定着を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや考えたことなどを言葉や文章にして素直に表現することができる。</li> <li>・音楽に対する興味・関心が強く、積極的に学習に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着。技能の向上。</li> <li>・グループ活動を充実させるための課題設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高い課題を設定して、知識・技能を高め、深い学びにつなげていく。</li> <li>・意見交流の機会を増やし、多角的に音楽を学ぶ機会を作る。</li> </ul>

【教科名：美術】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く考え取り組むことができる。</li> <li>・すべきことに集中して授業に取り組むことができる。</li> <li>・やや慎重であり、興味・関心に基づいて自分のオリジナルをどんどん制作し創造することが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やや慎重であるため、もっと気を楽しんで美術を楽しんでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の偶然の良さを感じる課題を行う。</li> <li>・共有の時間を増やし、教え合える時間を作る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべきことに対して集中して取り組む様子が見られる。</li> <li>・コミュニケーションを取りながら楽しんで制作できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これでいい」が多く、粘り強く取り組むことが苦手である。計画を立ててそれを意識して制作することが苦手なため、即興的・なんとなくで終わらせることが多い。</li> <li>・知識・技能を底上げすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画性の大切さが感じられるよう、1時間ごとに目標を明示し、手順を重視した説明を行う。</li> <li>・知識が理解できるよう、視覚に訴える説明を多くし、机間指導を増やす。</li> <li>・共有の時間を増やし、教え合える時間を作る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事にも興味・関心を持って取り組み、コミュニケーションを取りながら楽しんで制作できる。</li> <li>・自分の意見を物怖じせず言うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これでいい」が多く、計画を立ててそれを意識して制作することが苦手なため、即興的・なんとなくで終わらせることが多い。</li> <li>・知識・技能を底上げすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画性の大切さが感じられるよう、1時間ごとに目標を明示し、手順を重視した説明を行う。</li> <li>・知識が理解できるよう、視覚に訴える説明を多くし、机間指導を増やす。</li> <li>・共有の時間を増やし、教え合える時間を作る。</li> </ul>

【教科名：保健体育】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>・端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>・粘り強く取り組むこと。</li> <li>・端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>・繰り返し取り組める課題を設定する。</li> <li>・試合などの分析に端末を活用する。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>・端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>・端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>・試合などの分析に端末を活用する</li> </ul>

3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>粘り強く取り組むようお互いのアドバイスを行うこと。</li> <li>端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>課題を明確にできるようタブレットやカードを活用する。</li> <li>試合などの分析に端末を活用する。</li> </ul>
----	--	---	---

【教科名：技術】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業 座学では、初めての内容、栽培ということもあり、興味関心を持って学ぶことができた。 実習においては、始めてのことでもあり躊躇する場面も見受けられた。これは、私の仕事量と時間配分の誤差である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の内容はミニトマトの栽培方法を多く取り入れているが、今回のような季節でのスタートの場合には、品種選択や栽培の選択を検討する必要があると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種まきから収穫までの流れを理解させ、それぞれの植物の特性と生育、また、気候や温度などの基礎知識を学んでから、生徒同士で話し合い、栽培品種を選択する。また実習の作業内容によっては2校時を持って行う必要がある。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業 座学では、木材は技術の教材としてはポピュラーな材料であり生徒も親しみを持って樹木の種類・特性などについて、興味を持って学んでいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の特性について学ぶが実際に手に取ることができたならば、テクスチャーを感じ取り、作品のデザインや加工・製作に取り入れられると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際にある木材を観察することにより年輪や木理に大きく影響を及ぼす、気候風土や成長にともなう枝打ちなどの手入れにより変化することを学習する。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業 座学では、製図基礎知識である製図通則に乗っ取り、課題制作に用いる、ダンボールに直接図面を作成した。計測においては、ノギスと差し金を中心とした様々な使い方を学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測と製図は密接な関係であるにもかかわらず、苦手意識を持っている生徒が多くいるため、ダンボール家具(スツール)の図面を縮尺1/1でダンボールに直接描いたが、興味を持っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測の授業・実習においては事前準備として計測する模型(スケールが入った)を準備していれば、興味関心度が上がったと考える。ダンボール家具のパーツは事前準備していたため理解が早い。</li> </ul>

【教科名：家庭科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業： 座学では集中して取り組んでいたが、実習では一部の生徒に私語が目立った。</li> <li>授業アンケート： 意見交換や交流する時間が少ないという結果であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手意識を持っている生徒が集中して授業をうけられるようにする。</li> <li>意見交換や交流する内容を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味を引くような例を提示し、より分かりやすい内容にする。</li> <li>実習準備で意見交換や交流する時間を設定する。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業： 時々集中できない生徒がいるが、おおむね取り組んでいた。</li> <li>授業アンケート：クロムブックの活用に見いだせていない生徒が何人かいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期は調理実習があるので集中して取り組ませたい。</li> <li>授業におけるクロムブックの活用が生徒の学習にプラスになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習では集中して行わないと事故につながるがあるので、事前指導で丁寧に指導し、意識を高めて取り組ませたい。</li> <li>実習でもクロムブックを活用し、学習につなげたい。</li> </ul>

3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業:授業に集中して取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>・授業アンケート:クロムブックの活用と振り返りの効果を見出せてない生徒が何人かいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期も引き続き集中して取り組ませたい。</li> <li>・クロムブックの活用と振り返りが生徒の学習のプラスになるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や保育実習でも引き続き集中して取り組めるよう指導する。</li> <li>・調理実習や保育実習でもクロムブックを活用して事前指導や振り返りに役立て生徒の学習につなげたい。</li> </ul>
----	--	---	--

【教科名：英語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 授業：苦手意識が強いが、自分なりの目標を立てて、前向きに取り組んでいる。</li> <li>② 授業評価アンケート：「他の生徒の意見を聞いて考えが深まる…」の項目が低い。</li> <li>③ 定期考査：試験前後の取り組みから、苦手であっても高い意識で取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来取り組めることであっても、自信のなさや慎重になりすぎるあまり、「分からない」とあきらめてしまうことがある。</li> <li>・音と文字の一致。</li> <li>・ペアやグループワークでの生徒同士の学び合いの活性化。</li> <li>・語順並べ替えや読み取りなど、積み重ねが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大意から予測する、概要を把握するなど、トップダウンの理解を促し、繰り返し練習する。</li> <li>・様々な音読練習を行う。必要に応じて、音韻と文字の指導を行う。</li> <li>・個人→ペア→グループのようにスモールステップを踏み、適切な中間指導を行う。</li> <li>・単語テスト、チェック等を繰り返し行い、定着を図る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 標準学力検査：領域別集計結果では「書くこと」が全国正答率を大きく下回っていた。</li> <li>② 授業評価アンケート：意欲的に授業に取り組んでいる。</li> <li>③ 定期考査：ワークを中心に、試験対策を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2極化が起きている。知識の定着と技能の向上により全体を引き上げる。</li> <li>・即興を含むテーマ別英作文や、スピーチなどの活動を増やし、表現力の向上を目指す。</li> <li>・提示される1時間ごとの授業の目標を理解し、必要に応じて自分に合った目標に調整する力。</li> <li>・ワークのように与えられた課題だけでなく、自分に必要な学習を考えて行う力。</li> <li>・授業と家庭学習のつながりの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別少人数授業で、基礎クラスでは簡単なやり取りや文法、単語などの定着など、基礎・基本を徹底する。発展クラスでは教科書以上の内容を扱う。</li> <li>・聞いたら読む、読んだら話す、話したら書く、のように音と文字を往還させ技能統合を図る。</li> <li>・受け身にならないよう、特に授業の終末に、振り返りを行う時間を確保し、その場で口頭でもフィードバックを行う。</li> <li>・授業の中で家庭学習のアドバイスも行う。</li> </ul>

3 年	<p>① 標準学力検査：領域別集計結果では「読むこと」が全国正答率を大きく下回っていた。</p> <p>② 授業評価アンケート：意欲的に取り組んでいる。</p> <p>③ 定期考査：提出物以上の試験勉強して、意識高くテストに臨むようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長文の概要や要点を読み取る際に、一語一句、和訳してしまう。</li> <li>・提示される1時間ごとの授業の目標を理解し、必要に応じて自分に合った目標に調整する力。</li> <li>・「話せた」「書けた」という達成感その場だけになりがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大意から全体をつかむ読みを繰り返し行う。同時に、短文を読み取ることができない対処として、文構造の理解を促す指導や、単元を超えて、語彙・文法を使用する機会を増やし、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・受け身にならないよう、振り返りを行う時間を確保し、その場で口頭でもフィードバックを行う。</li> <li>・つまずきを、都度、補充、克服し長期的な定着を図る。</li> </ul>
B 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音する活動については、意欲的に行っている。</li> <li>・単語を書く・読むことについては大きな課題がある。</li> <li>・文章読解ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の読み・書き。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の意味を覚え、正しいスペルの単語を選ぶ練習を行う。書き取りについては、覚えるまで練習することは行わない。</li> </ul>